

事業報告

第44期（平成31年4月から令和2年3月31日まで）

当財団は平成25年3月25日に東京都知事の認定を受け、平成25年4月1日付で公益財団法人として移行後、事業活動は順調に推移しています。

当期の事業活動は予算額、前年度実績を、ともに若干下回る結果となりました。金融資産の運用益は、予算額を下回ったものの前年度実績を若干上回る結果となりました。しかしながら期末に株価等の暴落により金融資産に多額の評価損が発生し、正味財産期末残高は前期比△153百万減の857百万円と大幅な減少となりました。

ここに平成31年度の事業活動を報告します。

I. 公益目的事業 総額 33,856,963円

より良い社会の建設に資することを目的に、前途有望な学生・生徒に対する奨学金の給与並びに社会福祉及び芸術文化の分野における助成を行いました。

1. 育英事業への助成 合計 18,865,648円

(1) 奨学金

学術優秀で修学困難な学生、生徒に対する奨学金の給与を行いました。

以下のとおり大学、短大（専門学校含む）、高等学校（高専含む）の奨学生に対して、2回/年支給時期に個別面談の上用途等の指導を行いました。

64名 13,220,000円

対象	①大学生	年額	36万円/人
	②短大生（専門学校含む）	年額	24万円/人
	③高等学校生（高専含む）	年額	18万円/人又は9万円/人
	④東京日本語教育センター在校生	年額	10万円/人

(2) 理工系大学院生特別奨学金

理工系大学院生に対する奨学金の給与を行いました。

11月と3月に報告会を実施し用途等の指導も行いました。

上智大学 2名
東京理科大学 1名

3名 5,400,000円

対象 本財団が指定する東京都内の大学院の理科学系の博士前期課程（修士課程）又は後期課程（博士課程）の学生等。

年額 180万円/人

(3) 育英事業費助成金

245,648円

2. 社会福祉事業への助成 合計 9,740,486円

(1) 社会福祉事業助成金（心身障害者・老人及び児童福祉事業等を支援）

主に東京都福祉保健局、東京都社会福祉協議会・東京ボランティア市民活動センター、東京都手をつなぐ育成会、品川区社会福祉協議会等より推薦され、申請された22の団体・施設や品川区社会福祉協議会（介護用紙おむつ支給事業）等へ助成を行いました。

9,460,486円

対象 障害者（就労支援・生活介護等）、老人（地域とのつながり支援等）、児童（自立支援・家族滞在施設等）、一般社会（シェルター事業等）等。

(2) 福祉手当 2名 280,000円

3. 伝統芸能事業への助成 合計 2,740,000円

芸術文化に対する助成として、特に能・狂言・邦楽（主として古曲）等の伝統芸能の振興を目的とした事業へ助成・寄付等を行いました。

4. その他経費（給料手当） 合計 2,510,829円

II. その他事業 総額 4,128,757円

学生論文「昭和池田賞」

第38回学生論文「昭和池田賞」は21編の応募があり、審査の結果、優秀賞2編、特別努力賞3編が選ばれました。入選者の贈賞式は令和元年7月19日に東京で行いました。

なお、入選者以外の適格応募者には努力賞として記念品を贈呈しました。

優 秀 賞 （賞金20万円と当財団規定の奨学金） 2名

うちやま ゆきな
内山 幸奈氏 （東京大学教育学部 2年）

あらかわ ひとみ
荒川 瞳 氏 （早稲田大学 文化構想学部4年）

特別努力賞 （賞金5万円） 3名

えりか
ノルド絵莉華^カターシャ氏 （昭和女子大学 人間文化学部4年）

あべ はるき
阿部 春樹氏 （京都大学大学院 人間・環境学研究科修士1回生）

ふじめ のりこ
藤目 乃理子氏 （奈良女子大学大学院 人間文化研究科博士前期課程2年）

以上